取扱説明書

UltraGear™

（OLEDモニター）

このたびはLG製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください

32GS95UV

www.lg.com

Copyright © 2024 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

目次

日本語

組み立てと準備 4
- 設置 5
  モニターの持ち運び 5
  テーブルへの設置 6
  ケンジントン（Kensington）ロックの使用 6
  壁への取り付け 7
- 製品とボタンの説明 9
  OSDジョイスティックボタンの使用方法 10
  スタンドの高さの調整 10
  角度の調整 11
  ピボット機能 11
- サポートされているドライバーとソフトウェア 13

モニターの接続 14
- PCへの接続 14
  HDMI接続 14
  DisplayPort接続 15
- AV機器の接続 15
  HDMI接続 15
- 周辺機器の接続 16
  USBデバイスの接続 16
  ヘッドホンの接続 16

ユーザー設定 17
- メインメニューの表示 17
  メインメニューの機能 17
  メニュー設定 18
  [ゲーム機能設定] 18
  [画像調整] 19
  [サウンド] 20
  [入力] 20
  [全般] 21
- 画面の焼き付きを防ぐための重要な情報 22
  画面の焼き付きを引き起こす可能性のある画像の例 22
  画面の焼き付きを防ぐための推奨事項 22
  長期間使用する場合の安全上の注意 22

製品仕様 23
- サポートモード 24
（プリセットモード、HDMI） 24
（プリセットモード、DisplayPort） 25
HDMIタイミング（動画） 26
トラブルシューティング 27
ライセンス 28
オープンソースソフトウェアのお知らせ 29

組み立てと準備

⚠ 注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 不正なコンポーネントを使用したことによって生じる故障やけがは、製品の保証の対象外となります。
- 付属品以外の使用により発生した破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 本マニュアルで使用される製品の図面と画面表示は製品の使用方法を示すための例示であり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。（製品が故障する可能性があります。）
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの画面に触れないでください。モニター画面に力を加えると、画面が破損するおそれがあります。
- 一般的なコーティング方法とは異なり、外観に波紋パターンが見えることがありますが、これは、原材料に光沢剤を添加しているためです。塗装がはがれることなく、耐久性が向上します。製品の使用に全く問題はありませんので、安心してご使用ください。

ヒント

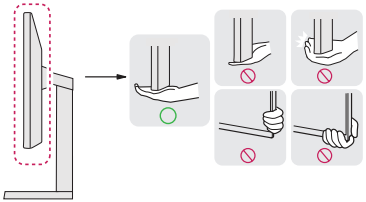
- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- 付属品以外の部品をお求めになる際は、本製品を購入した販売店またはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- 付属の電源コードは、国や地域によって異なります。

設置

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に運搬できるように、以下の指示に従ってください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材に再梱包してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかりと持ちます。パネル自体はつかまないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶パネル（画面）に触れないようモニターの背面を持って、画面に傷を付けないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターに強い衝撃や過度な振動を与えないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり、左右に傾けたりしないでください。

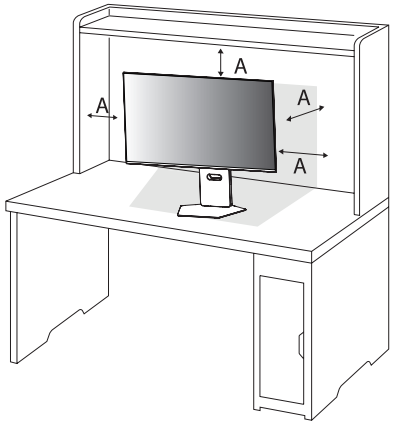


⚠ 注意

- 液晶パネル（モニターの画面）には触れないでください。
  - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷したりするおそれがあります。
- モニターの底面に電源ボタンがあるため、スタンドを使用しないとモニターの転倒によって、モニターの破損や負傷の原因になります。また、電源ボタンが故障する原因になります。

テーブルへの設置

- モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲に100 mm 以上の空間を空けて設置してください。



A：100 mm

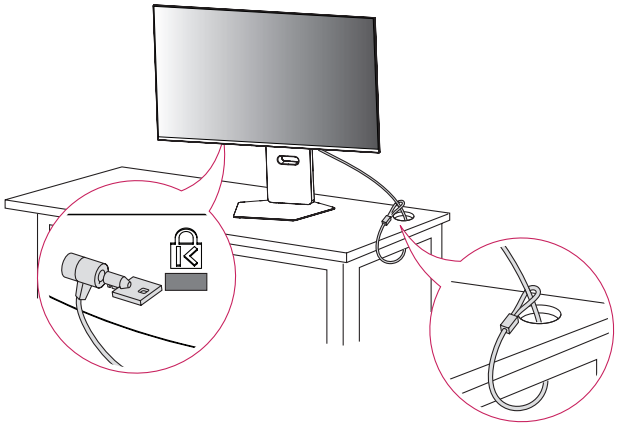
⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 必ず製品付属の電源コードを使用してください。コードをアース付きコンセントに接続してください。（国によって異なります）

ケンジントン（Kensington）ロックの使用

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のホームページ（*http://www.kensington.com*）をご覧ください。

ケンジントンセキュリティーシステムケーブルでモニターをテーブルに固定します。



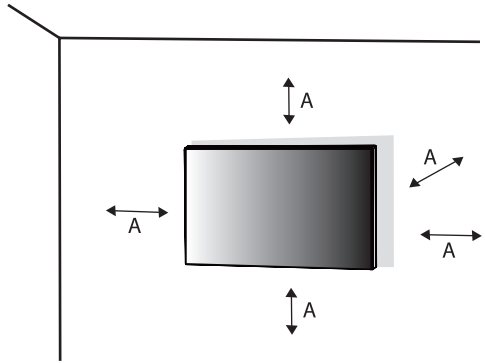
ヒント

- ケンジントンロックは別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。

壁への取り付け

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。

十分な通気性を確保するため、モニターは壁から100 mm以上離して取り付け、モニターの上下左右それぞれ100 mm以上の空間を空けてください。詳しい設置手順については、製品をお求めになった販売店にお問い合わせください。傾斜付き壁掛けプレートの取り付け方法については、取扱説明書を参照してください。



A：100 mm

壁掛け金具を取り付ける

モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具（別売）をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

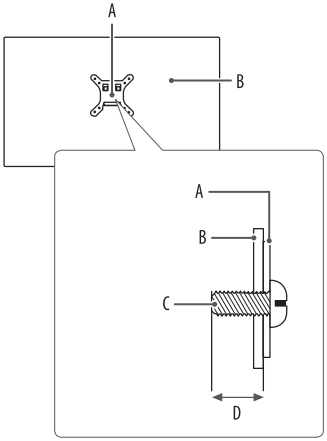
壁掛け（mm）	100 x 100
標準ネジ	M4 x L10
ネジの本数	4

ヒント

- VESA規格で指定されているネジを使用します。
- 壁掛けに必要な部品や、マニュアルは壁掛け金具に付属しています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け金具は別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ネジの長さは、壁掛け金具によって異なります。適合しないネジを使用すると、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
- 詳細については、壁掛け金具の取扱説明書を参照してください。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
- モニターを壁に設置する前に、スタンドの取り付け手順と逆の手順でスタンドを取り外してください。

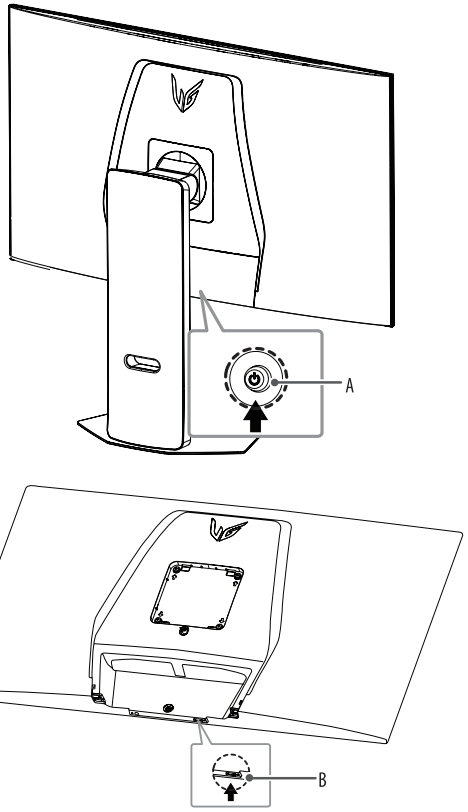
⚠ 注意

- 移動や設置の際は、先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターを天井や傾斜のある壁面に取り付けると、モニターの落下によって重大な事故に繋がるおそれがあります。設置については、LG純正の壁掛け用ブラケットを使用し、販売店または資格を有する業者にご相談ください。
- けがをしないように、設置手順に従って本製品を壁にしっかり取り付けてください。
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。規格に適合しない部品の使用、取り付けの不備による製品の破損、負傷については保証の対象外になりますので、十分ご注意の上、作業してください。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは最大8 mmです。



A:壁掛け用プレート
B:モニターの背面
C:標準ネジ
D:最大8 mm

製品とボタンの説明

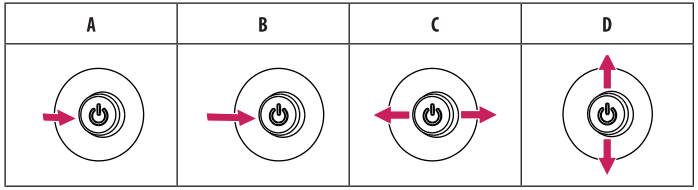


A:OSDジョイスティックボタン
B:[Dual-Mode]ボタン

OSDジョイスティックボタンの使用方法

OSDジョイスティックボタンを指で押したり、上下左右に倒したりすることでモニターの各種機能を簡単に操作できます。

基本機能



A（電源オン）：OSDジョイスティックボタンを指で押すと、モニターの電源がオンになります。

B（電源オフ）：OSDジョイスティックボタンを5秒以上押し続けると、モニターの電源がオフになります。

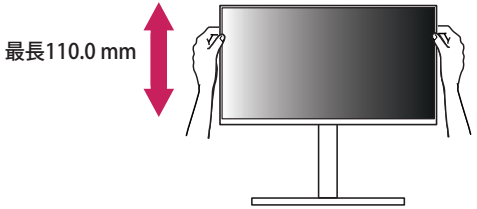
C（音量制御）：OSDジョイスティックボタンを左右に倒すと音量を調整できます。

D（画面輝度の制御）：OSDジョイスティックを上下に倒すと画面の明るさを調整できます。

スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。

2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。（液晶パネルには触れないようにしてください。）



⚠ 警告

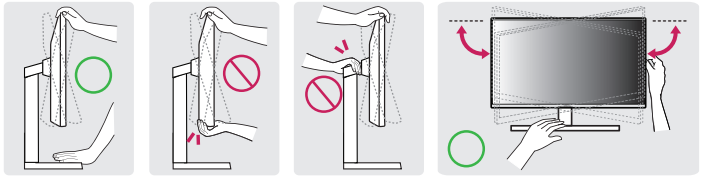
- 画面の高さを調整するとき に、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。画面とスタンドベースの間に手を置かないようにしてください。

角度の調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 画面の角度を調整します。
画面を前後(-8°から+15°)に調整して、見やすい角度にします。また、画面の角度を左右に30°ずつ調整することができます。

⚠ 警告

- 画面を調整するときは、下のイラストのようにモニターのフレームの下部をつかまないでください。指をはさむおそれがあります。
- モニターの傾きを調整するときに、液晶パネルに触れたり、押したりしないように注意してください。

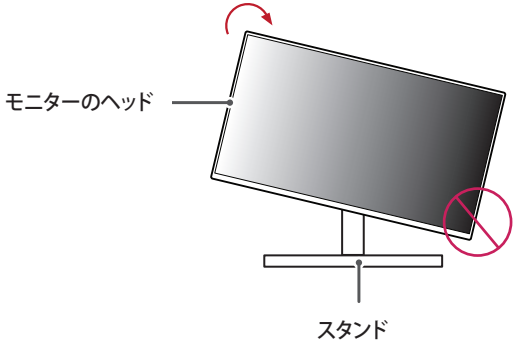


ピボット機能

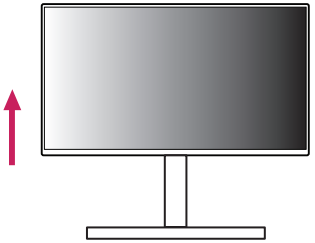
ピボット機能により、モニターを時計回りに90°回転できます。

⚠ 警告

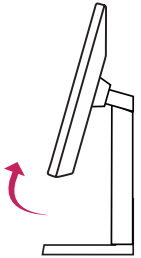
- ピボット機能を使用するときは、過度な力をかけないでください。モニターのヘッドが接触すると、テーブルに傷がつく可能性があります。
  - 本体がスタンドと接触し、ベース部分がこすれるおそれがあります。
  - 本体とスタンドの間に指を挟んで、けがをしないように注意してください。



1 モニターの高さを一番上まで上げます。

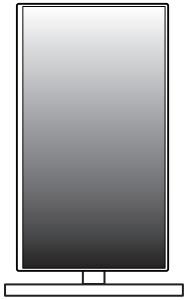


2 図のように、モニターが上を向くように角度調整します。



3 モニターを時計回りに回転させます。

4 下の図のように、モニターを90度回転させて完了です。



ヒント

- オートピボット機能はサポートされていません。
- Windowsには、表示の向きを変更するためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、画面の表示を簡単に変更できます。ただし、一部のWindowsのバージョンやグラフィックカードドライバーでは、これらのショートカットキーの割り当てが異なっている場合や、サポートされていない場合があります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

LGEのWebサイト（*www.lg.com*）から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。

- モニタードライバー / OnScreen Control / LG Calibration Studio / Dual Controller

モニターの接続

- 本書で使用されるイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

OSDジョイスティックボタンを押して、[設定] > [入力] に移動して、入力オプションを選択します。

⚠ 注意

- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり、映像が正しく表示されなかったりする場合があります。
- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 長時間同一の画像を表示させ続けると、画面に焼き付きが発生することがあります。画面の焼き付きについては保証の対象外になります。焼き付きを防止するために、OSでスクリーンセーバーを設定することをお勧めします。
- 電源コードをコンセントに接続する際は、アース付きマルチタップまたはコンセントをご使用ください。(国によって異なります)
- 温度が低い場所で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すると、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されるこ とがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。通電して温度が上昇すると、正常な状態に戻ります。
- 付属品のケーブルを使用してください。付属のケーブル以外を使用すると、誤作動の原因になることがあります。
- 初めてモニターを使用する場合や、長期にわたって保管した後に再び使用する場合には、使用前に[OLED画像のクリーニング]を実行してください。([設定] > [全般] > [OLED画像のクリーニング] に移動)

PCへの接続

- モニターは Plug and Play* 機能に対応します。

* Plug and Play：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識してOS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

ヒント

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します。
  - ウルトラハイスピードHDMI®/™ ケーブル
  - イーサネット対応ウルトラハイスピードHDMI®/™ ケーブル

DisplayPort接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像または音声に対応していないことがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort 1.4に対応した Mini DisplayPort - DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。(別売り)

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器からモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

ヒント

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します。
  - ウルトラハイスピードHDMI®/™ ケーブル
  - イーサネット対応ウルトラハイスピードHDMI®/™ ケーブル

周辺機器の接続

USBデバイスの接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。
USBハブを使用する場合は、付属のUSBケーブル（A-Bタイプ）で、PCとモニターのUSBアップストリーム端子に接続してください。
USBダウンストリーム端子に接続されたキーボードやマウスなどの入力機器でPCを操作したり、USBストレージのデータを接続することができます。

ヒント

- Windowsの最新のアップデートプログラムを適用してから接続することをお勧めします。
- 周辺機器は別売です。
- キーボード、マウスなどのUSBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- ダウンストリーム端子に接続したデバイスの充電が可能です。充電速度はUSBデバイスによって異なります。

⚠ 注意

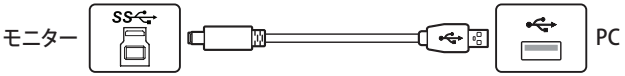
- USBデバイス使用時は次のことに注意してください。
  - 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
  - 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
  - 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。（供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります。）

ヘッドホンの接続

ヘッドセットポートを介して周辺機器をモニターに接続します。

ヒント

- 周辺機器は別売です。
- マイクはモニターのUSBポートがPCのUSBポートへ接続されている場合にのみ機能します。
- PCおよび外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。



ユーザー設定

ヒント

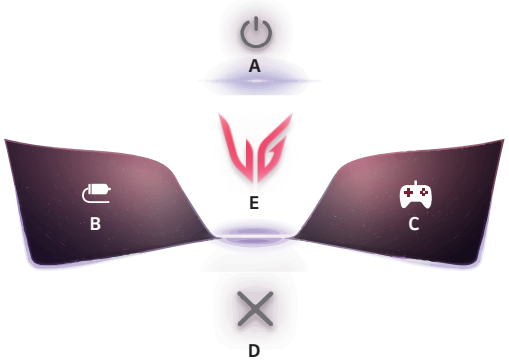
- 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、アップデート等により、本書の内容と変わる場合があります。

メインメニューの表示

OSDジョイスティックボタン

1 モニターの背面にあるジョイスティックボタンを押します。
2 OSDジョイスティックボタンを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
A:[電源オフ]	モニターがオフになります。
B:[入力]	表示させる入力端子を選択します。（初期設定） • メインメニューの左側（B）をカスタマイズして、お好みのメニューに簡単にアクセスできます。（[設定] > [全般] > [ユーザー定義キー1]）
C:[ゲーミングモード]	ピクチャーモード をゲームのジャンルに合わせたモードに変更することができます。（初期設定） • メインメニューの右側（C）をカスタマイズして、お好みのメニューに簡単にアクセスできます。（[設定] > [全般] > [ユーザー定義キー2]）
D:[終了]	メインメニューを終了します。
E:[設定]	モニターの各種設定メニューを表示します。

メニュー設定

1 OSDメニューを表示するには、モニターの背面にあるジョイスティックボタンを押して[設定]に移動します。
2 OSDジョイスティックボタンを上下左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
3 一つ前に戻るか、別のメニュー項目を設定するときは、OSDジョイスティックボタンを◀の方向へ倒すか、OSDジョイスティックボタン(⏻)を押します。
4 メインメニューを終了したい場合は、終了するまでOSDジョイスティックボタンを◀の方向へ倒します。

[ゲーム機能設定] [画像調整] [サウンド] [入力] [全般]

[ゲーム機能設定]

[設定] > [ゲーム機能設定]

- [ゲーミングモード]:ゲームの表示設定用に画像モードを選択できます。
  - [ゲーマー 1]/[ゲーマー 2]:[ゲーマー 1]、[ゲーマー 2]画像モードで、ゲーム関連設定オプションを含む、カスタマイズした表示設定2セットを保存できます。
  - [FPS]:FPS(Real-time Strategy)ゲームに最適化されたモードです。暗いシーンでも見やすくなるよう調整されています。
  - [RTS]:RTS(Real-time Strategy)ゲームに最適化されたモードです。
  - [鮮やか]:明るさ、コントラスト、シャープネスの値を強めて、鮮明な画質で表示します。
  - [ブルーライト低減モード]:画面表示を紙のような質感で表示するモードです。(SDRのみ)
  - [HDR効果]:通常の映像 (SDR) を HDR に近い画質で表示します。(SDRのみ)
  - [sRGB]:モニターやプリンターで標準化されるRGB色空間を適用します。(SDRのみ)
  - [色覚調整]:P 型および D 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。(SDRのみ)
  - [キャリブレーション 設定1]/[キャリブレーション 設定2]:キャリブレーションした画面に合わせて調整します。キャリブレーションを実行するためにLG Calibration Studioをインストールしてください。(SDRのみ)

ヒント

- 設定できる[ゲーミングモード]は入力信号に応じて異なります。
- DP (DisplayPort)接続時に[ゲーミングモード]を変更した際、映像が乱れたり、PCの解像度が変更されてしまう場合があります。
- OS(Windows)の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。WindowsのHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。
- グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に表示されない場合があります。
- グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときにモニター入力を切り替えたり、電源をオン/オフにしたりすると、画面が点滅したり、ちらつきが発生したりする場合があります。
- グラフィックカードおよびゲームが HDR に対応しているかについては、それぞれのメーカーのウェブサイトをご覧ください。

- [Dual-Mode]：リフレッシュレートを増やすと、より滑らかで素早い動作を体験できます。
  - [オフ]：最大3840 x 2160 @240 Hzをサポートし、PCのパフォーマンスによって異なる場合があります。
  - [オン(全画面)] / [オン(27")] / [オン(24")]：最大1920 x 1080 @480 Hzをサポートし、PCのパフォーマンスによって異なる場合があります。
    » 各設定で画面サイズが変化します。
  - [Dual-Mode]ボタンを使用して[Dual-Mode]を[オフ]、または以前選択していた場合は[オン(全画面)]、[オン(27")]、[オン(24")]の間で切り替えられます。
    » 初期状態では[オフ]と[オン(全画面)]を切り替えます。
- [Adaptive-Sync]/[VRR]：この機能はゲーミング環境で画面の乱れや途切れを生じず、明瞭な画面を表示できるようにします。
  ただし、一部のゲーミング環境では画面のフリッカが起きる場合があります。
  - インターフェイス：DisplayPort（Adaptive-Sync）、HDMI（VRR）。
  - PCおよびグラフィックカード：NVIDIA の G-SYNC® COMPATIBLE または AMD の FreeSync™ テクノロジー に対応するグラフィックカードが必要です。
  - グラフィックドライバ：最新のデバイスドライバはNVIDIA社またはAMD社のホームページよりダウンロードしてください。
  - 情報および要件については、NVIDIA の Web サイト（*www.nvidia.com*）および AMD の Web サイト（*www.amd.com*）を参照してください。
- [ブラックスタビライザー]：暗いシーンできれいに見えるように黒のコントラストを制御できます。暗いゲーム画面で物体を簡単に見分けることができます。
- [クロスヘア]：FPS（First Person Shooting）ゲームのプレイ用に、画面中央にクロスヘア（十字マーク）を表示します。
  4つの異なるクロスヘアの中から、ゲーム環境に合ったクロスヘアを選択できます。
- [FPSカウンター]
  - [オン]：このインジケーターは画面の左上に表示されます。これは、入力で受信される実際のフレームレートを表示します。[FPSカウンター]の位置を調整することもできます。（左上/右上/右下/左下）
  - [オフ]：[FPSカウンター]機能を使用しません。
  - [FPSカウンター]と[クロスヘア]機能を同時に使用することはできません。
- [ゲーム機能設定初期化]：「ゲーム機能設定」の設定値を初期設定（工場出荷時の設定）に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

[画像調整]

[設定] > [画像調整]

- [明るさ]：画面の明るさを調整します。
- [最大輝度]：パネルを最大輝度に調整して、画面を明るくします。
- [コントラスト]：画面のコントラストを調整します。
- [シャープネス]：画面のシャープネスを調整します。
- [ガンマ]
  - [モード 1]、[モード 2]、[モード 3]：ガンマ値を補正します。「モード 1」に設定すると中間色が明るく、「モード 3」に設定すると中間色が暗く表示されます。
  - [モード 4]：ガンマ値の調整が不要な場合は、[モード 4]を選択してください。
- [色温度]：お好みの色合いで表示することができます。
  - [ユーザー設定]：R（赤）、G（緑）、B（青）で設定したお好みの画質を表示します。
  - [Warm[暖色]]：映像の色合いを、赤みのある6500Kの色温度に設定します。
  - [Medium[中間]]：映像の色合いを7500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。
  - [Cool[寒色]]：映像の色合いを、青みのある9300Kの色温度に設定します。
  - [マニュアル]：色温度を微調整することができます。
- [R/G/B]：R（赤）、G（緑）、B（青）各色の強弱を手動で設定します。

- [6色相環]:6 色相環(赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー)の色合い、彩度を調整して、より詳細にお好みの色を設定できます。
  - 色合い:各色の色相を調節します。
  - 彩度:各色の彩度を調整します。値を低くすると、彩度が下がり、色は明るくなります。値を高くすると、彩度が上がり、色は暗くなります。
- [ブラックレベル]:オフセットレベルを設定します(HDMIのみ)。
  オフセット:映像信号の基準として、これがモニターで表示できる最も暗い色です。
  - [High]:映像信号の情報をそのまま表示します。
  - [Low]:暗い部分をより暗くして、シャープな色合いで表示されます。
- [ピクチャーモード初期化]:「画像調整」の設定値を初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると、設定されていた項目がすべて初期化されますのでご注意ください。

[サウンド]

[設定] > [サウンド]

- [サウンド出力]:オーディオ出力方法を切り替えます。
- [DTS Headphone:X]:ヘッドホンまたはイヤホンで3Dサウンドを有効にします。
  - [ゲーム]:ゲームに最適化されたモードです。
  - [エンターテインメント]:エンターテインメントに最適化されたモードです。
  - [スポーツ]:スポーツに最適化されたモードです。
  - [オフ]:DTS Headphone:X機能を無効にします。
- [DTS Virtual:X]:スピーカーを通じて3Dサウンドを実現します。
  - [ゲーム]:ゲームに最適化されたモードです。
  - [エンターテインメント]:エンターテインメントに最適化されたモードです。
  - [スポーツ]:スポーツに最適化されたモードです。
  - [オフ]:DTS Virtual:X機能を無効にします。
- [音量]:音量を調節します。
  - [音量]メニューが表示されているときにジョイスティックを▼の方向へ動かすと、[ミュート] / [ミュートを解除]を設定できます。

[入力]

[設定] > [入力]

- [入力選択]:各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。
- [アスペクト比]:画面の縦横比を調整します。推奨解像度で表示しているときは、[全画面]、[オリジナル] および [ジャストスキャン] に設定を変更しても、表示は変わりません。
  - [全画面]:映像信号の入力に関係なく画面全体に表示します。
  - [オリジナル]:映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
  - [ジャストスキャン]:映像サイズを調整せず、映像の解像度でそのまま表示します。
- [自動入力切替]:[自動入力切替] を [オン] に設定した場合、新しい入力が接続されると、表示が自動的に切り替わります。

[全般]

[設定] > [全般]

- [言語]：OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。
- [OLED画面の移動]：定期的に画面をわずかに移動させ、長時間固定された画像が原因で起こるパネルノイズを防止します。
  画面の移動経路、ピクセル数、サイクルの異なる4つのモードをサポートします。使用環境に合わせ、適切なモードを選択してください。
- [OLEDスクリーンセーバー]：一定時間、画面に動きがない場合、画面が自動的にオフになります。
- [OLED画像のクリーニング]：モニターを長時間オンにした場合に画面上で起こる問題を修正します。完了まで約10分間かかります。
  節電モードに入ったり、前回の[OLED画像のクリーニング]使用から4時間以上経過した後に電源をオフにすると、自動的に実行されます。
- [Hexagon Lighting]：モニター背面のライティングを設定します。
  - [Static 1]、[Static 2]、[Static 3]、[Static 4]：ライティングをお好みの色に設定します。
  - [サイクリング]：すべての色が交互に表示されます。
  - [オフ]：モニター背面のライティングをオフにします。
- [ユーザー定義キー1]/[ユーザー定義キー2]：メインメニューをカスタマイズして、お好みのメニューに簡単にアクセスできます。メインメニューの左/右に[ユーザー定義キー1]と[ユーザー定義キー2]が表示されます。
- [SMART ENERGY SAVING]：輝度補正アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。
  - [High]：[SMART ENERGY SAVING]によって、より効率的に消費電力を抑えます。
  - [Low]：[SMART ENERGY SAVING]によって、消費電力を抑えます。
  - [オフ]：機能を無効にします。
  - 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。
  - [SMART ENERGY SAVING]の設定が[High]または[Low]になっている場合、映像ソースによって輝度が変化します。
- [ディープスリープモード]：[ディープスリープモード]を[オン]にすると、モニターの待機消費電力が最小になります。
- [自動スタンバイ]：モニターを一定の間操作しないと、モニターは自動的にスタンバイモードに切り替わります。
- [入力互換性バージョン]：各入力を接続されたデバイスでサポートされるバージョンに設定できます。
  - 接続されたデバイスがHDMIで2.1をサポートしていても、画面やサウンドが正しく動作しない場合は、この機能を2.1（AV）に設定してください。
- [Beep音]：モニター起動時に鳴るビープ音のオン/オフを設定できます。
- [OSDロック]：設定可能な項目を制限します。
  以下を除くすべての機能が無効になります：
  - [画像調整]の[明るさ]/[コントラスト]
  - [サウンド]の[音量]
  - [入力]
  - [全般]の[OSDロック]/[表示情報]/[オープンソースソフトウェアライセンス]
- [表示情報]：次の情報が表示されます：[電源投入時間合計]、[解像度]。
- [オープンソースソフトウェアライセンス]：[ビュー]を選択すると、オープンソースソフトウェアの通知情報を確認できます。
- [初期化]：初期設定（工場出荷時の設定）に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

画面の焼き付きを防ぐための重要な情報

通常のLED/LCDモニターとは異なり、OLEDモニターのピクセルはそれ自体で発光するため、完全な黒を実現し、光をぼやけさせることなく鮮明な画像を作成します。

通常の使用では画面の焼き付きは発生しませんが、同じ画面を長時間見ていると発生する可能性があります。組み込み機能を使用して、画面の焼き付きから画面を保護できます。

画面に静止画が表示されたままになっている場合、スクリーンセーバーは自動的に全画面の明るさを下げ、一定時間後に画面が自動的にオフになります。画像の変化を検知すると、明るさは自動的に元の状態に戻ります。これは製品の故障ではありません。

画面の焼き付きを引き起こす可能性のある画像の例

- 静止画または画面上の固定位置に常に表示されるオブジェクト/情報を含む画像（デスクトップ上のアイコン、メニューなどの固定ウィンドウ、放送を見ているときのロゴなど）
- ゲーム機またはセットトップボックスの固定されたメニュー/アイコン
- Webブラウザーの上隅の固定されたメニュー

画面の焼き付きを防ぐための推奨事項

- モニターのメニュー設定を使用して、画面の焼き付きを防げます。
（[設定] > [全般] > [OLED画面の移動] / [OLEDスクリーンセーバー] / [OLED画像のクリーニング] に移動）

長期間使用する場合の安全上の注意

OLEDパネルの独自の特性により、長期間使用すると輝度が低下する場合があります。輝度の低下は永続的です。

また、高温多湿、静止画/高輝度などの条件で繰り返し使用すると、残像、画像のブレ、画面の誤動作などが発生する場合があります。

製品仕様

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。
~ 記号は交流を、⎓記号は直流を表します。

カラー階調:
- 8-bit/ 10-bit カラーに対応します。

解像度
- 最大解像度:
  - 3840 x 2160 @ 240 Hz
- 推奨解像度:
  - 3840 x 2160 @ 240 Hz

環境条件
- 動作条件
  - 温度:0 °C～40 °C
  - 湿度:80 %未満
- 保管条件
  - 温度:-20 °C～60 °C
  - 湿度:85 %未満

AC/DCアダプター
- モデル:ACC-LATP2
  製造メーカー:SHENZHEN HONOR ELECTRONIC CO., LTD
  - 入力:AC 100 V~ 50/60 Hz 2.5 A
  - 出力:19.5 V ⎓ 10.8 A
- モデル:AD10630LF
  製造メーカー:PI ELECTRONICS (H.K.)Ltd.
  - 入力:AC 100 V~ 50/60 Hz 2.5 A
  - 出力:19.5 V ⎓ 10.8 A

電源
- 電源定格:19.5 V ⎓ 9.0 A

寸法:モニターサイズ(幅 x 高さ x 奥行)
- スタンドあり(mm):714.1 x 620.9 x 249.8
- スタンドなし(mm):714.1 x 411.8 x 65.0

重量(パッケージを除く)
- スタンドあり(kg):9.8
- スタンドなし(kg):5.6

サポートモード

（プリセットモード、HDMI）

日本語

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.940	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.004	-/-	
1280 x 720	45.000	60.000	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1920 x 1080	67.500	60.000	+/+	
1920 x 1080	66.587	59.934	+/-	
3840 x 2160	65.688	29.981	+/-	推奨（[入力互換性バージョン]：[1.4]）
1920 x 1080	137.327	120.041	+/-	
1920 x 1080	166.668	144.052	+/-	
2560 x 1440	182.996	119.998	+/-	
3840 x 2160	133.313	59.997	+/-	推奨（[入力互換性バージョン]：[2.1(AV)]）
2560 x 1440	222.268	144.050	+/-	
1920 x 1080	291.702	240.084	+/-	
3840 x 2160	333.333	144.050	+/-	
1920 x 1080	665.760	480.000	+/-	推奨（[Dual-Mode]：[オン(全画面)]、[オン(27")]または[オン(24")]）
3840 x 2160	583.016	240.023	+/-	推奨（[入力互換性バージョン]：[2.1(PC)]）

（プリセットモード、DisplayPort）

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.940	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.004	-/-	
1280 x 720	45.000	60.000	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1920 x 1080	67.500	60.000	+/+	
1920 x 1080	137.327	120.041	+/-	
1920 x 1080	166.587	143.981	+/-	
3840 x 2160	133.313	59.997	+/-	推奨（[入力互換性バージョン]：[1.2]）
2560 x 1440	222.151	143.973	+/-	
1920 x 1080	291.702	240.084	+/-	
3840 x 2160	214.680	95.033	+/-	
3840 x 2160	268.438	119.999	+/-	推奨（[入力互換性バージョン]：[1.4]）
3840 x 2160	333.333	144.050	+/-	
1920 x 1080	665.995	480.170	+/-	推奨（[Dual-Mode]：[オン(全画面)]、[オン(27")]または[オン(24")]）
3840 x 2160	583.165	240.084	+/-	推奨（[入力互換性バージョン]：[1.4(DSC)]）

- 入力タイミングが対応周波数を外れる場合、応答速度または画質が劣化することがあります。
- 好みのタイミングと周波数で表示する場合は、DSC（ディスプレイストリーム圧縮）に対応するグラフィックカードが必要です。

HDMIタイミング（動画）

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
480P	31.5	60
720P	45	60
1080P	67.5	60
1080P	135	120
2160P	135	60
2160P	255	120

トラブルシューティング

画面に何も表示されない

- 電源が入らない
  - 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。
  - モニターがスリープモード（スタンバイモード）になっている場合は、マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、表示をオンに切り替えます。
  - コンピューターの電源が入っているかどうか確認します。
- モニターの電源はオンになっていますか？
  - 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。（[設定] > [入力]）
- [推奨解像度での表示をおすすめします。]というメッセージが表示されている
  - このメッセージは、PC（グラフィックカード）からの信号が、本製品の推奨される水平または垂直周波数範囲を超えている場合に表示されます。この取扱説明書の製品仕様を参照して、適切な周波数を設定してください。
- 画面に[信号が見つかりません。]と表示される。あるいは、画面が表示されない
  - 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。（本製品付属のケーブルの使用をおすすめします）
- 画面に[範囲超過]と表示される
  - このメッセージは、PC（グラフィックカード）からの信号が、本製品の水平または垂直周波数範囲を超えている場合に表示されます。この取扱説明書の製品仕様を参照して、適切な周波数を設定してください。

OSで「モニターが認識されません。Plug and Play (VESA DDC) のモニターが見つかりました」というメッセージが表示される

- OSで正しく設定できない
  - 弊社のWebサイト（*www.lg.com*）からディスプレイドライバーをインストールしてください。
  - グラフィックカードが Plug and Play 機能に対応することを確認します。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される

- 画面がちらつく
  - 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz（インターレース）の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。
  - OS上で正しい解像度に設定してください。推奨される（最適な）解像度でない場合、文字がぼやけたり、画面がかすれて表示されることがあります。
  - 設定の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- 画面上に小さな点が表示される
  - 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け（ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点）が見えることがあります。これはエラーではありません。また、モニターの性能には関連しません。

一部のOSDメニューの設定ができない

- OSD で設定できない項目がある
  - OSDがロックされています。[全般]で[OSDロック]をオフに設定します。

ヘッドセットポートから音が聞こえない

- ヘッドセットポートに接続した音声機器から音声が出力されない（音が聞こえない）
  - ヘッドセットポートの接続が正しく行われていることを確認してください。
  - モニターの音量の設定が「ミュート」または「0」になっていないか確認してください。
  - WindowsやPCの再生ソフトウェアの音量を確認してください。（OSや再生ソフトウェア等によって設定方法が異なります）
  - [サウンド出力]を[H/Pアウト]に設定してください。

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、*www.lg.com*を参照してください。

	HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
	The SuperSpeed USB Trident logo is a registered trademark of USB Implementers Forum, Inc.
	Manufactured under license from DTS Licensing Limited. For applicable DTS patents, see *https://xperi.com/patents/*. DTS, the Symbol, DTS and the Symbol together, Headphone:X and DTS Virtual:X are trademarks of DTS, Inc. and affiliates. DTS' software, technologies, and documentation, © DTS, Inc. and affiliates. All Rights Reserved.
	VESA, VESA logo, DisplayPort compliance logo and DisplayPort compliance logo for dual-mode source devices are all registered trademarks of the Video Electronics Standards Association.

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は *https://opensource.lge.com/* のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料でCD-ROMによりオープンソースコードを提供しています。料金にはCD-ROMの代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、*opensource@lge.com* まで電子メールでお問い合せください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

製品のモデルと製造番号は背面と側面にあります。
サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

製造番号

VCCI

この装置は、クラスＢ機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B